

杉森 裕樹 (すぎもり ひろき)

大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 教授

【略歴】

<学 歴>

平成元年3月31日 北海道大学医学部医学科卒業

平成10年3月31日 昭和大学医学研究科医学博士 (衛生学) 学位取得

平成15年4月31日 The University of Newcastle Australia 医科学修士課程 (臨床疫学) 修了

<職 歴>

平成元年4月1日 東京女子医科大学附属病院血液内科 医員

平成7年4月1日 昭和大学医学部衛生学 助手

平成12年4月1日 聖マリアンナ医科大学医学部予防医学 講師

平成19年4月1日 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 教授

平成27年4月1日 学校法人大東文化学園 理事

・東海大学医学部基盤診療学系健康管理学 客員教授

・日本健康栄養システム学会 理事

・特定非営利活動法人エキスパートイメージングアンドインターベンショナルサポート 理事

・独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 専門委員

・厚生労働科学研究「患者及び医療関係者との医薬品等安全対策情報のリスクコミュニケーションに関する研究」班 研究代表者 (平成24~26年度)

・厚生労働科学研究「国民および医療関係者との副作用情報にかかるリスクコミュニケーション方策に関する調査研究: 副作用の効果的な情報伝達手法の検討」班 研究代表者 (平成21~23年度)

・日本産業衛生学会誌編集委員・Journal Occupational Health (JOH) Editorial Board

<著 書>

・FDA リスク&ベネフィットコミュニケーション: エビデンスに基づく健康・医療に関する指針 (丸善出版)

・臨床研究マイスターへの道 医科統計学が身につくテキスト (メディカルサイエンス・インターナショナル社)

・医学探偵ジョン・スノー-コレラとブロード・ストリートの井戸の謎 (日本評論社)

・最悪に備えよ-医薬品および他の医療関連危機を予測し回避または管理する (じほう社)、他

瀬戸山 陽子（せとやま ようこ）

東京医科大学医学部看護学科看護情報学 講師

【略歴】

聖路加看護大学（現 聖路加国際大学）大学院博士課程修了、公益財団法人医療科学研究所研究員、
聖路加看護大学看護実践開発研究センター博士研究員、国立がん研究センターがん対策情報センタ
ーがん情報提供研究部 医療情報サービス研究室研究員

共著：中山和弘・岩本貴編「患者中心の意思決定支援—納得して決めるためのケア—」、瀬戸山陽
子「第7章 意思決定のための資源とその活用」

研究テーマ：情報通信技術（ICT）、オンラインコミュニティ、ヘルスリテラシー、ヘルスコミュニ
ケーション、意思決定支援

中山 和弘（なかやま かずひろ）

聖路加国際大学看護学部 教授

【略歴】

東京大学医学部保健学科卒業、東京大学大学院医学系研究科博士課程（保健学専攻）修了。日本学
術振興会特別研究員（PD）、国立精神・神経センター精神保健研究所流動研究員、東京都立大学人文
学部社会福祉学科助手、愛知県立看護大学助教授を経て現職。

専門は保健医療社会学、看護情報学。

研究テーマは、ヘルスリテラシー、意思決定支援、ポジティブ心理学、健康生成論と保健行動。
主な著書に『健康と医療の社会学』『患者中心の意思決定支援：納得して決めるためのケア』『市
民のための健康情報学入門』『看護情報学』『地域包括ケアシステムの成功の鍵—医療・介護・保健
分野が連携した「見える化」・ヘルスリテラシーの向上—』など。

ウェブサイト「ナースに役立つ種類のサイトとは？Nurse's SOUL」、「健康を決める力」を運営。

中山 健夫（なかやま たけお）

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授

【略歴】

1987年 東京医科歯科大学医学部卒。

内科研修後、東京医科歯科大学難治疾患研究所疫学部門 助手、米国 UCLA フェロー、国立がんセンター研究所がん情報研究部 室長を経て、京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 助教授、2006年～同教授（健康情報学）、2010年～同副専攻長。

日本神経学会・消化器病学会・褥瘡学会・内視鏡外科学会。核酸代謝学会などの診療ガイドライン・統括委員、日本医療機能評価機構 Minds 作業部会・診療ガイドライン選定部会・EBM 普及啓発部会委員・診療ガイドライン評価専門部会座長、日本歯科医学会ガイドラインライブラリー収載部会座長、他

藤本 修平（ふじもと しゅうへい）

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 博士後期課程
理学療法士

【略歴】

平成 21 年 弘前大学医学部保健学科卒（理学療法士免許取得）

平成 23 年 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期課程修了（保健学修士）

平成 23～27 年 東京湾岸リハビリテーション病院 理学療法士

平成 26 年～ 京都大学大学院医学研究科 博士後期課程（在学中）

平成 26 年～ 浜松医科大学医学部心理学教室 客員研究員

共著：日本行動医学会・編、行動医学テキスト、II 章「健康行動と健康教育（ヘルスプロモーション）」（中外医学社）

研究テーマ

- ・ 診療ガイドラインの質評価（主に患者参加、医療者への普及）
- ・ Shared decision making の適切な方法論の検証
- ・ 脳卒中リハビリテーションにおけるヘルスコミュニケーション

所属学会

日本理学療法士協会、日本神経科学学会、日本行動医学会、日本医学教育学会

山本 美智子（やまもと みちこ）

昭和薬科大学 医療薬学教育センター長・教授

【学歴・職歴】

1975年 熊本大学薬学部卒業

1978-1981年 ドイツ Albert-Ludwigs(フライブルグ)大学言語学部留学

2005年 東京医科歯科大学大学院課程・博士（医学）

一般財団法人京都予防医学センター、国立医薬品食品衛生研究所安全情報部、独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全第一部、鈴鹿医療科学大学薬学部を経て、

2013年 昭和薬科大学医療薬学教育センター教授

2014年 昭和薬科大学医療薬学教育センター長

医薬品の安全性評価、情報リテラシー、リスクコミュニケーションの研究に取り組む。

【その他の職】

独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員、

熊本大学薬学部臨床教授、

鈴鹿医療科学大学客員教授

厚生労働科学研究費補助金
地域医療基盤開発推進研究事業

社会的責任に応える医療の基盤となる診療ガイドラインの課題と可能性の研究
平成 26-27 年度 総合研究報告書

発行 平成 28(2016)年 3 月

発行者 【社会的責任に応える医療の基盤となる診療ガイドラインの課題と可能性の研究】班

代表者 中山 健夫

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野

印刷 株式会社こだま印刷所

〒604-8455 京都市中京区西ノ京藤ノ木町 16

TEL:075-841-0052

